

ふくしまの森林文化調査カード

No.16

県 HP公開の可否 (  可 ・ 否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	<u>3. 森と技</u> 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 彩漆土器	(ふりがな) さいうるしどき	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	三島町荒屋敷遺跡の彩漆土器(大沼郡三島町)		
伝承地域	—		
由来(年代)	三島町荒屋敷遺跡は、縄文時代晩期の約3,000年～2,300年前のものである。		
内容	<p>縄文時代前期(約6,000年～5,000年前)以降には漆の樹液の利用も盛んに行われ、三島町荒屋敷遺跡からは木製の器に漆を塗った漆器の他にも、漆を塗った土器が出土している。</p> <p>三島町荒屋敷遺跡は縄文時代に埋没して以来、現在まで湿地になっていたため遺物が腐らずに残り、木製品や漆を塗った製品が多数発見されたとても珍しい遺跡である。木製の弓、皿やコップ上の器、漆を塗ったかんざしやくしなどが出土している。</p>		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	JR新幹線:新白河駅から約4キロ、タクシー10分、バス15分 東北自動車道:白河インターチェンジ下車約20～30分		
文化財等の指定状況	県指定重要無形民俗文化財		
問い合わせ先	福島県文化財センター白河館・まほろん(TEL:0248-21-0700) 三島町教育委員会(TEL:0241-48-5599)		

【フリーフォーマット】

キーワード